

# 家庭学習の充実に向けて

～「家庭学習の質向上推進事業」3年間のまとめ～



鳥取市立青谷小学校



鳥取市立青谷中学校



青谷小学校と青谷中学校は、平成30年度から令和2年度までの3年間、鳥取県教育委員会が進める「家庭学習の質向上推進事業」の実践校として様々な取組を行ってきました。

右の図は、この事業を通してめざした児童生徒の学びの姿勢を示したものです。**毎日の家庭学習は、授業での学びをより確かなものにするためにとても大切です。**また、家庭での予習は、授業での理解度を高める効果や学習意欲を高める効果が期待されます。

このリーフレットでは、青谷小学校と青谷中学校が3年間進めてきた家庭学習の質向上のための具体的な取組とその成果の一部を紹介しています。このリーフレットを読まれた方に、**家庭学習の大切さを理解していただくとともに、このリーフレットが学校と家庭・地域が一緒になって児童生徒の学力向上を進めていく助けとなることを期待しています。**

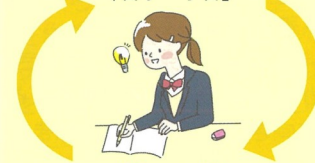
## めざす姿

自主学習や予習をきっかけに、  
授業に進んで喜んで向かう子ども

### 学びのサイクル

#### 家庭学習

「自学・予習」



#### 授業

「めあて」→「振り返り」



## 主な取組とその成果



### 1. 予習の習慣化

小学校では、算数の学習を中心に、発達段階に応じた予習課題に取り組んできました。1年生では、次の学習の教科書の該当ページを読んでくる、2年生以上では、次の学習の教科書の最初の問題を解いてくるように指導しました。2年生以上でも、学習の内容によっては教科書を読んでくることを予習にする場合もあります。

高学年では自主学习ノート2ページのうち1ページは予習をするようにし、自分で考えて予習に取り組む習慣づけを行いました。

〈グラフ1〉は、児童がどの程度予習に取り組んでいるかを2年生以上にアンケートで調査した結果です。半数以上の児童が予習をすることに対して肯定的な回答しており、**予習が定着しつつある**ことがわかります。一方で、学年によって予習の頻度が異なっているため、学校全体でさらなる予習の定着に取り組んでいく必要があります。

また、算数だけでなくその他の教科にも予習が広がっています。教科の特性に合わせながら、効果的な予習の取り組みを実践していくことを目標としています。

中学校では、次の授業で学習する教科書の該当ページを読んでくることを予習として取り組むように指導してきました。

〈グラフ2〉は予習に取り組んだ生徒がどの程度予習の効果を感じているかをアンケートで調査した結果です。

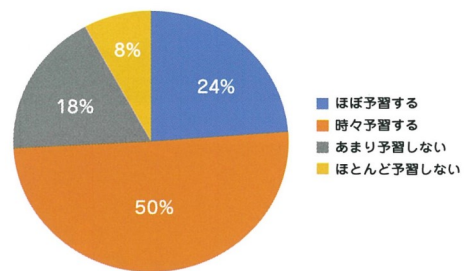
6月よりも11月の方が肯定的回答の割合が高まっており、**予習の効果を感じている生徒が増えている**ことがわかります。

〈グラフ3〉は、予習の効果を検証するために、定期テストの全体の平均点と予習に積極的に取り組む生徒（以下予習群）の平均点を予習の取組をはじめる前後で比較したものです。取組前（R1中間）は全体と予習群の平均点の差が約50点だったのが、取組後（R2中間）は約80点差に広がっています。**予習に取り組む生徒の平均点が伸びている**と見ることができます。

予習が学力向上に効果があることが見えてきましたが、予習に前向きに取り組む生徒はまだ全校生徒の半分弱です。**予習の目的は、あくまで新しく学ぶ内容の概要を知ることであり、完全に理解することではありません。5～10分程度の負担にならない範囲で取り組むことが継続させるためのポイント**です。

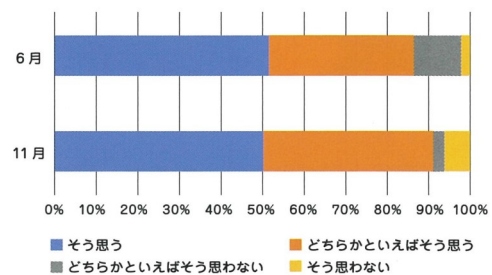
〈グラフ1〉

どの程度予習課題に取り組んでいるか（小学校）



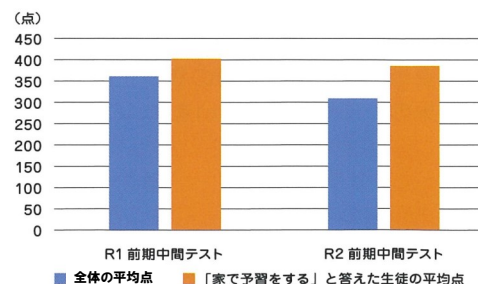
〈グラフ2〉

予習をすると授業の内容がわかりやすくなる。（中学校）



〈グラフ3〉

R1年度入学生定期テスト平均点の変化（中学校）





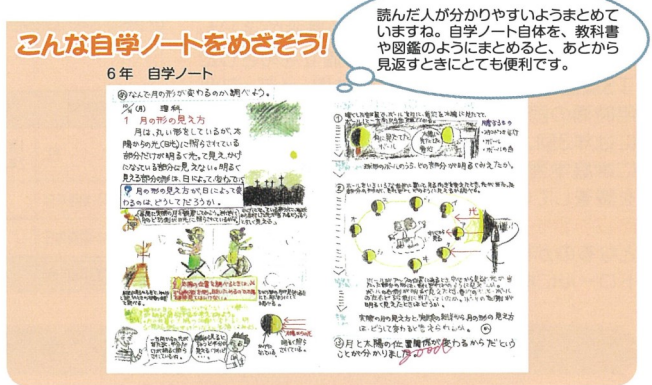
## 2. 自主学習ノートの効果的な活用

青谷中学校区では、小学校と中学校が連携して、小学校1年生から自主学習ノートを活用した家庭学習に取り組んでいます。具体的には、自分で学習内容と学習方法を決めて1日ノート1ページ分の学習を行います。自主学習ノートを使った学習は、**個人の学びの状況に合わせて学習内容を考えることができるので、全員が同じ内容に取り組む宿題よりも高い学習効果が期待**できます。

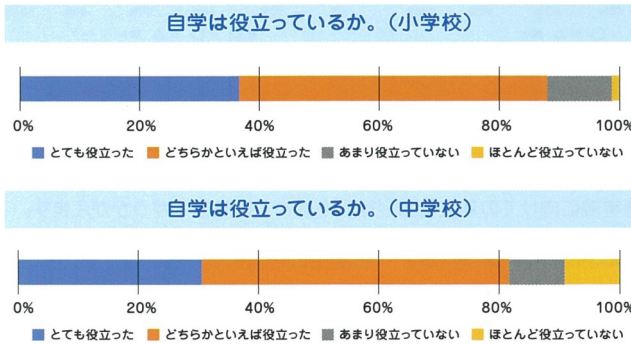
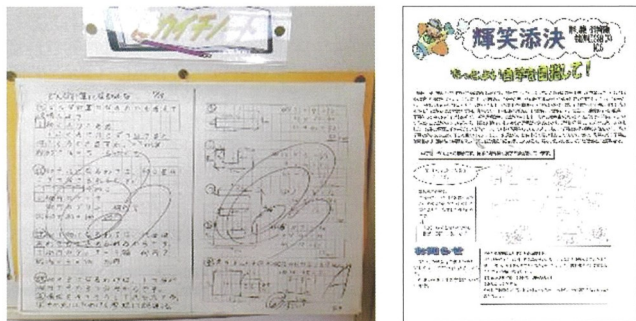
ただ、実際には「自主学習で何をしたらよいのか困っている」という児童生徒の声も少なくありません。そこで、「家庭生活と学習の手引き」を改訂し、自主学習の具体例を掲載し、児童生徒が自分の取組の参考にできるようにしました。

また、学級内で児童生徒の自主学習ノートを掲示し、よいところに気づかせることで、よりよいノートにしていこうとする意欲づけを行っています。

学級だよりで自主学習を紹介し、関心を高めることで家庭と連携した自主学習ノートの取り組みになるよう心がけています。



「家庭生活と学習の手引き」より

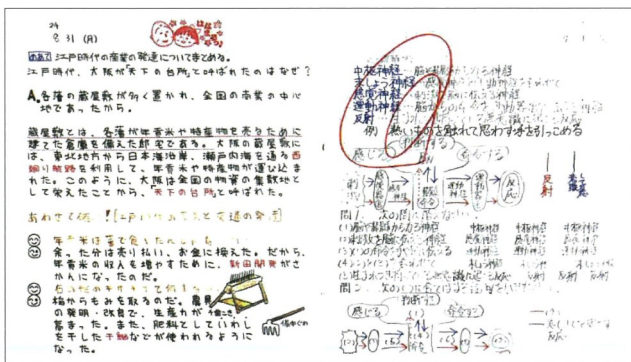


左のグラフは、自主学習ノートを使った学習の効果をどの程度感じているかをアンケート調査した結果です。

80%以上の児童生徒が自主学習ノートは役に立っていると感じていることがわかります。

今年度は、さらに効果的な学習を進めるために、「交換自学ノート」の取組をはじめました。これは、自分専用のノートではなく、1冊のノートを日替わりでクラス全員で回しながら取り組むノートです。**自分の順番が回ってきたときには、前のページをめくってみることで、クラスの友達の取組を参考にすることができます。**

左の写真から、左のページの生徒は教科書の内容を自分なりにまとめなおしていることがわかります。右のページの生徒は重要語句の意味を整理した上で練習問題に取り組んでいます。このように、**いろいろなやり方が1冊のノートの中に詰まっているので、自分に合ったやり方、自分にはなかったやり方を取り入れることができます。**



交換自主学習ノート





### 3. チャレンジあ・お・や (3点固定の取組)

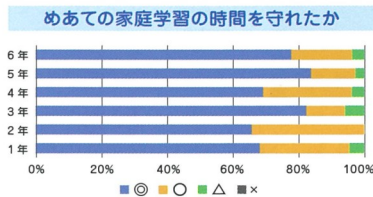
青谷中学校区では、以前から保育園・小学校・中学校が連携して「15年間の青谷の子どもの育ち」を考えて、生活リズムの確立をめざした「3点固定」(学習時間・睡眠時間・メディア利用時間の固定)に取り組んできました。具体的には年3回、中学校の定期テストの直前1週間に家庭学習時間、メディア利用時間、睡眠時間を調査しています。**家庭での規則正しい生活が家庭学習を充実させる基盤になります。**その要となるのが睡眠時間とメディア利用時間のコントロールにあります。

〔睡眠時間・家庭学習時間・メディア利用時間のめやす〕										
		小学校 低学年	小学校 中学年	小学校 高学年	中学校 1年生	中学校 2年生	中学校 3年生			
家庭学習時間	睡眠時間	9時間半		9時間		8時間半		6~8時間		
	平日	1年生 20分以上 2年生 30分以上	3年生 40分以上 4年生 50分以上	5年生 60分以上 6年生 70分以上	80分	90分	100分			
	テスト期間平日						180分	210分	240分	
	テスト期間休日						300分	330分	360分	
メディア利用時間	2時間以内 (このうちゲームは1時間以内)									

#### 小 学 校

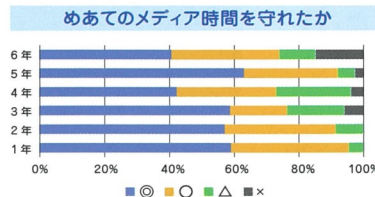
##### 〔 学 習 時 間 〕

家庭学習の時間を守れたかという問いに、90%以上の児童が肯定的な評価をしています。学年×10+10分の学習時間が定着している様子が見えます。



##### 〔 メディア利用時間 〕

メディア時間を守れたかという問いに、70%以上の児童が肯定的な評価をしています。傾向として休日にメディア時間が守れなくなり、睡眠時間にも影響が出てしまうことが多いようです。**家庭のメディアルールを決めて、メディア時間が長引かないよう心掛けている方も増えてきています。メディアを見ながら学習する「ながら」勉強も、大きな課題となっています。**



##### 〔 睡 眠 時 間 〕

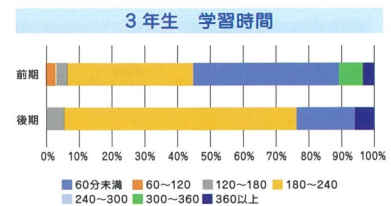
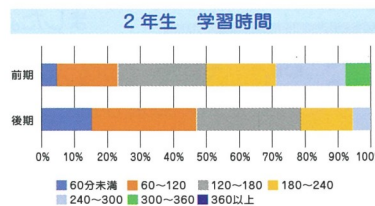
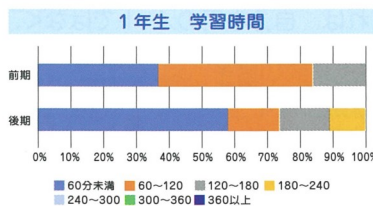
睡眠時間を守れたかという問いに、80%以上の児童が肯定的な評価をしています。メディア時間とも関わってきますが、ゲームなどに熱中して睡眠時間が極端に短い児童もおり、二極化の傾向が見られます。



#### 中 学 校

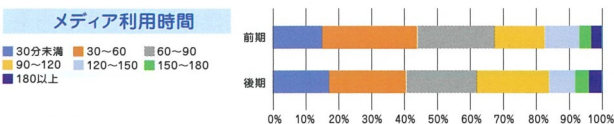
##### 〔 学 習 時 間 〕

1年生は目標の180分以上の生徒が見られるようになりました。2年生は、目標の210分以上の生徒が大幅に減っています。3年生は目標の240分以上の生徒は減少していますが、ほとんどの生徒が180分以上取り組んでおり、進路実現に向けての着実に取り組みを進めている様子が見えます。



##### 〔 メディア利用時間 〕

30分未満の割合が増えている一方で、90分以上の割合も増加しています。普段のメディア利用時間の目標は2時間(120分)以内ですが、**テスト期間であることを考えると、普段よりもメディア利用時間を抑えて学習時間に充てることを意識して取り組んでいく必要があります。**



##### 〔 睡 眠 時 間 〕

目標の6時間以上を確保できていますが、5時間未満の生徒が増えてきていることが気になります。睡眠不足は家庭学習だけではなく、昼間の学校生活や健康にも影響を与えます。

